

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	障害者雇用促進のための意識改革形成促進事業		担当部局庁	職業安定局高齢・障害者雇用対策部	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度(開始)・終了年度未定		担当課室	障害者雇用対策課	障害者雇用対策課長 山田 雅彦			
会計区分	労働保険特別会計雇用勘定		施策名	Ⅱ-1-3 高齢者、障害者、若年者等労働者の特性に応じ、就労支援や失業の防止を図る				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	雇用保険法第62条第1項第5号		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	障害者の雇用促進に向けては、企業を中心に障害者雇用に係る普及啓発を図っていくことが必要であることから、国が行う企業等への指導に併せて民間団体等による普及啓発を効果的に行い、企業の障害者雇用についての理解を促進する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	企業を対象として、障害者雇用についての専門相談窓口を設置し、経営の専門家が障害者雇用に関する理解の促進、経営的管理の側面からの障害者雇用の配置や生産性の向上方法等、特例子会社の設立や障害者の雇用管理を始めとした企業が抱える障害者雇用に関する種々の相談を受け付け、優良雇用事例を踏まえた助言等を行うことにより企業の障害者雇用に係る理解を深める。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
		当初予算		9	9	9	18	
		補正予算						
		繰越し等						
	計		9	9	9	18		
	執行額		8	9				
執行率(%)		98%	99%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)	
	相談を受けた事業主から「役に立った」旨の評価の割合 90%		成果実績	%	-	95	98	90
			達成度	%	-	119%	108%	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	障害者雇用相談員の相談により解決した経営上の問題点の処理件数 420件		活動実績 (当初見込み)	件	-	297 (100)	422 (420)	- (385)
			算出根拠		・委託費額 平成23年度委託契約額 8,505,000円 ・障害者雇用相談員の相談により解決した経営上の問題点の処理件数 422件			
単位当たりコスト	20,154(円/問題処理件数)							
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	委託費	9	18	委託先団体の増				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	本事業は、一般の求職者と比して就職が困難である障害者の雇用促進を目的として実施しており、その点において、広く国民ニーズ及び優先度は高い。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	本事業は、障害者雇用の促進に向けて、企業を中心に障害者雇用に係る普及啓発を図り、障害者雇用の機運を高めるものであるため、民間団体の活用を図りつつ、国が主体となって実施すべき。
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	一般競争入札を実施。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	昨年度に比べコストは減少しており、必要最低限の経費であるので、水準は妥当と考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	専門相談窓口の相談員への謝金等に限定している。
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	経営の専門家が事業主に対して行う相談は、問題点の処理件数も多く、事業主からの評価も高いことから、高い実効性を確保している。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	満足度90%以上
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	活動実績(422件)、見込み(420件)
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	本事業は活動実績も見込みに見合っており、相談を受けた事業主からの評価も高い水準であることから、今後も、経営の専門家による障害者雇用に係る啓発・相談等を引き続き実施していく必要がある。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	障害者雇用促進のための意識改革形成促進事業は概ね妥当であるが、引き続き効率的な執行に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-	-		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	891

※平成23年度実績を記入

厚生労働省
9百万円

【一般競争入札】

A.NPO法人障害者雇用部会
9百万円

- ・経営の専門家による障害者雇用に関する理解の促進
- ・企業が抱える障害者雇用に関する種々の相談受付
- ・優良雇用事例を踏まえた助言

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.NPO法人障害者雇用部会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	相談員謝金	6			
施設管理費	事務所賃借料	2			
事業費	通信運搬費、活動旅費	1			
計		9	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	NPO法人障害者雇用部会	・経営の専門家による障害者雇用に関する理解の促進 ・企業が抱える障害者雇用に関する種々の相談受付 ・優良雇用事例を踏まえた助言	9	1	100%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					